

カギカズラ	<i>Uncaria rhynchophylla</i> (Miq.) Miq.	絶滅危惧 I 類
		アカネ科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に少なくて存続の基盤が脆弱である。	写真(岐阜県博物館) 標本
形態の特徴	常緑のつる性木本。上部の葉腋に湾曲した鉤がありこれで他の植物にからまって伸びる。葉腋から多数の小花が球形に密集した1個の頭状花序を着ける。花期は6-7月	
生態的特徴	やや明るい林下に生育している。	
分布状況	県南西部のごく狭い地域に見られる。	分布図
減少要因	生育地の林下の光条件の悪化及び道沿いの草刈り等によると思われる。	
保全対策	生育地の森林の適度な管理と林道等の整備には配慮が必要である。	
特記事項	鉤は漢方で薬用にされる。	
参考文献	佐竹義輔他. 1989. 日本の野生植物. 木本. II. p. 192. 平凡社. 東京. 城川四郎他. 2001. 山溪ハンディ図鑑. 5. 樹に咲く花. P. 312. 山と溪谷社. 東京.	

文責: 荻山恒弘